



鉾田市議会

だより

No.2 **冬号**

平成18年 2月28日発行

発行／鉾田市議会
 発行責任者／鉾田市議会議長 倉川陽好
 編集／鉾田市議会広報編集委員会
 編集委員／新堀喜弘、水上美智子、入江晃、小沼俊秀
 飯塚幸右衛門、山口徳、石崎良一、石津武吉



日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにて議員研修会

12月定例会

定例会の概要 P 2 ~ 3	議決案件 P 4	
一般質問 P 5 ~ 15			
市毛 勇議員	中山 尚 治議員	飯塚幸右衛門議員	須澤正孝議員	菅谷幸雄議員
方波見和彦議員	下河邊一良議員	小川 一彦議員	出沼丈夫議員	友部正徳議員
石津武吉議員	水上美智子議員	入江 晃議員	野口忠篤議員	坂爪 衛議員
井川茂樹議員	島 長 弘議員	菅谷達男議員	高野 衛議員	
議員研修会を実施 P15	常任委員会の審査経過と結果 P16 ~ 17	
同意された人事案件／選挙管理委員／請願陳情 P 18			

平成17年 第1回定例会

助役二人制 収入役廃止条例、指定管理者条例、 名誉市民条例など三十三議案を審議

十二月十二日から十五日間の会期で開催され、市長より銚田市助役の定数に関する条例の制定など議案三十三件、報告一件、同意案件十二件が提出され、いずれも可決、同意されました。また、選挙管理委員、補充員の選挙が行われました。請願については、地域ミニバスの運行を求めるための請願書が審議され、全会一致で採択されました。

一般質問については、十九人が登壇、執行部の考えを質しました。

―平成十七年第一回定例会の概要―

本会議一日目（十二月十二日）

議長の開会宣告の後、会期の決定、諸報告の後、議案等について議案第一号から31号及び報告第一号、同意第一号から8号について、市長から提案説明が行われました。

本会議二日目（十二月十四日）

市政全般について、八名の議員が一般質問を行いました。

本会議三日目（十二月十五日）

十四日に引き続き、八名の議員が一般質問を行いました。

本会議四日目（十二月十六日）

十五日に引き続き、三名の議員が一般質問を行いました。

本会議五日目（十二月十九日）

議案第一号から22号、報告第一号については、質疑の後、反対討論もありましたが、採決の結果原案のとおり可決されました。議案第23号から31号の

一般会計、特別会計については質疑の後、所管の常任委員会へ付託しました。

常任委員会（十二月二十日）

総務企画常任委員会、文教福祉常任委員会を開催し、付託事件の審査を行いました。

常任委員会（十二月二十一日）

産業経済建設常任委員会を開催し、付託事件の審査を行いました。

常任委員会（十二月二十二日）

市民生活常任委員会を開催し、付託事件の審査を行いました。

本会議六日目（十二月二十六日）

最終日は議案32号から33号、並びに同意第9号から12号が、市長より追加提案されました。その後、各常任委員長から審査経過並びに結果報告が行われその後、質疑、討論、採決され一部反対討論がありました。原案のとおり、可決、同意されました。

請願書一件については、全会一致で採択となりました。銚田市選挙管理委

員会委員、並びに補充員の選挙が行われました。最終日までに各常任委員会並びに議会運営委員会より閉会中の継続審査の申し出がされ、申し出のとおり可決しました。

主 な 質 疑

問 平成十七年と十八年にわたって防

災無線事業が行われるようですが、事業の内容について伺いたいします。

答 旧銚田町の区域に整備をされたもので、途中、更新をしてみました。既に十五年を経過しているということ

で、老朽化、故障等が懸念されるため、防衛庁の補助事業として更新を行うものです。総事業費は4億7千万円、補助率は75%です。既設については、1

26局ありまして、これをすべて更新します。さらに、新設3局を見込んで

おります。

問 旧銚田町の計画では、窒素、燐等の除去をする高度型合併処理浄化槽も、

下水道事業、農業集落排水事業と同じように、その管理は町が委託してやる

という計画があったと思いますが、その中で、高度型を設置した方々が将来的にも個人管理で良いのかということ

で、伺いたいします。

答 下水の処理計画については、議員

ご指摘のように幾つかの処理方式という

ことで、考えておりまして、市町村設置型の浄化槽のことをご指摘いただ

いていると思います。当然、市町村設置型になれば市が管理をしていくということになります。

問 助役を定数二にするということですが、議会開会冒頭の市長の提案説明

によると、今後十年間で職員を1000名減らす、いわゆるスリム化の話があり

ました。それからすると、助役を減らす茨城新聞の報道もあります。銚

田市は最初に収入役を減らして、助役を二人にするということは、あとの

兼掌ということですが、事実上、収入役を置くことにつながるというこ

とですね。財政的にも収入役より2万5千円アップし、財政負担も軽くなる

らないことから、なぜ二名にするのか、伺いたいします。

答 選挙公約として、住民の地域の皆さんの、一日も早い融和、そして一体化というものを図っていきたくて考

えていました。そういう中、旧両村の色々な事業等を熟知している方に助言、協

力をいただき、目的を一日も早く達成したいということで提案しました。

問 名誉市民条例についてですが、対象者の選定にあたり議会の同意を得て

とありますが、具体的な選定の基準はあるのかないのか、伺いたいします。

答 これについては、等しく市民に尊敬をされるということで、広く各方面

からの意見を聞くことも大事なかと考えています。

問 水道事業について、ひとつの市と

して考えた場合、全体像が見えませんが、普及率とか、基本的データをお伺いいたします。

答 普及率については、大洋地区47・8%、銚田地区、旭地区が50%前後になっており、三事業とも合併協の中で旧銚田町水道事業が工事、整備完了した時点で統合し、認可を受けなおし一本化になる予定です。

問 昨年銚田町の議会で議場整備費当初3340万3千円から1240万8千円も削減されました。これは、三町村議会の準備会の意向と担当課の努力と思えますが、その内容についてお伺いいたします。

答 各議員のご協力により削減できた内容ですが、議場内マイクを4人で二つに、備品についても、既存のものも活用、新規備品についてもグレードを下げたことによります。

問 公民館の委託料について、旧旭とまた大洋、銚田等では内容が違うと思えますが、ほかではこの総合管理をやっているのか、また来年度はどのような形で管理をしていくのか、お伺いいたします。

答 旭地区は、総合管理をしているわけですが、他の地区ではシルバー人材センターといったものを活用しながら業務をしております。今後についてはそれらの活用ができるところは、それを取り入れながら、両方の形でいきたいと思えます。

問 これからますます女性の視点に耳を傾けなければと思えます。潮来市、旧波崎町では女性議会を開催し素晴らしい結果を出しているようですので、銚田市としても実現できないか、お伺いいたします。

答 旧銚田町では、過去に二回開催をしました。その中の反省会の中で、発言できる方と発言できない方がいらっしやいまして、議会よりも女性フォーラムであればもっと活発な質疑応答ができて、女性議会よりも女性フォーラムのほうが、色々な意見も聞けて活発な事業であるという認識のもと、変更をしてきた経緯がございます。検討をさせていただきます。

問 教育長の交際費という名目が計上をされていきますが、教育長には教育委員会の代表権はあるのでしょうか。代表権がない場合に教育長交際費というのは不具合であると思えます。教育委員会交際費のほうが適当ではと思えますが、この点お伺いいたします。

答 ご指摘のとおり、代表権はありません。そういった意味の中で、今後交際費につきましては改めてまいりたいと思えます。



主な討論(要旨)

○議案第1号 銚田市助役の定数に関する条例の制定についてから議案第5号について

反対討論

助役を二人制にして収入役を置かないということですが、市民にとりましても「寝耳に水」と言えるものです。タイムリング的にも非常に拙速であるとともに、政治手法としてコンセンサスを得ていくことが大事だと思います。市長は経費削減、人件費削減ということを言いますが、助役二人制は削減も何もありません。住民から批判の電話が寄せられていることから、はっきりしています。旧町村の格差是正を口実に、助役二人、この中に旧村長二人がなる可能性を市長は否定しませんでした。市民から見れば、何か市長の選挙後の論功行賞的な意味合いもあるのではと見られても仕方ないと思えます。以上の理由から反対いたします。

賛成討論

合併間もない市であり、早急な条例制定と同時に、市民の速やかな融和と一体性の確保が求められており、市民からは合併によるサービスの向上や多種多様な要望が日に日に高まっており、これを迅速に対応していくためには、助役二人制は最善の策と考えています。業務の分担化、効率化も図

れると考えます。収入役の廃止については、情報技術の進展に伴う事務の効率化があるとも言われています。助役増員は地域間格差の是正、市の発展には必要と考え、賛成いたします。

○報告第1号 銚田市職員給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

反対討論

この給与条例改正は、人事院並びに茨城県人事委員会の勧告によるもので、茨城県人事委員会は、官民格差をマイナス0・28%にもかかわらず、改定率ではマイナス0・3%とし、基本給と扶養手当(配偶者分)を月額500円引下げ、四月にさかのぼって適用し、一時金、勤勉手当を分をわずか0・05月引き上げるといふもので、銚田市の平均賃金からみると、年間約1万3千円の賃下げになります。これは単に基本給のみならず、生涯賃金と退職金にも影響します。公務員の賃金水準は、その地方の中小企業労働者の賃金水準や児童扶養手当、生活保護費など、福祉水準にも影響を及ぼします。以上の理由から反対いたします。

賛成討論

銚田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に対し賛成いたします。

平成17年第1回定例会審議結果

(平成17年12月12日～12月26日)

議案第1号 銚田市助役の定数に関する条例の制定について

地方自治法の規定に基づき、助役の定数を増加させるためのものです。

(賛成多数可決)

議案第2号 銚田市収入役の事務の兼掌に関する条例の制定について

地方自治法の規定に基づき、収入役を置かず、助役に収入役の事務の兼掌させるためのものです。

(賛成多数可決)

議案第3号 銚田市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

議案第4号 銚田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

議案第5号 銚田市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

議案第3号から第5号は、収入役を置かないためのものです。

(賛成多数可決)

議案第6号 茨城県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について

平成17年8月1日から同年10月11日までに効力を生じた市町村の配置分合に伴い、茨城県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数を減少するものです。

(全会一致可決)

議案第7号 茨城租税債権管理機構規約の一部改正について

平成17年8月1日から同年10月11日までに効力を生じた茨城租税債権管理機構を組織する市町村の合併に係る改正を行うものです。

(全会一致可決)

議案第8号 鹿行地方広域市町村圏事務組合規約の変更について

地方自治法の規定に基づき、神栖町及び波崎町の合併、麻生町、北浦町及び玉造町の合併並びに旭村、銚田町及び大洋村の合併に係る変更を行うものがあります。

(全会一致可決)

議案第9号 銚田市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について

地方自治法の規定に基づき、本市の公の施設の指定管理者の指定手続き等について、必要な整備を図るものです。

(全会一致可決)

議案第10号 銚田市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致可決)

議案第11号 銚田市ワークプラザ銚田の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致可決)

議案第12号 銚田市いきいきプラザ幸遊館の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致可決)

議案第13号 銚田市福祉作業所の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致可決)

議案第14号 銚田市ほっとパーク銚田の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致可決)

議案第15号 銚田市とっぷ・さんて大洋の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致可決)

議案第16号 銚田市官駐駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第10号から第16号は、指定管理者制度を導入するための必要な整備を図るものです。

(全会一致可決)

議案第17号 銚田市特別会計設置条例の一部を改正する条例

公共下水道事業会計を追加するものであります。

(全会一致可決)

議案第18号 銚田市地域づくり基金条例の制定について

市民の連携の強化及び豊かな地域づくりを推進するための基金を制定するものです。

(全会一致可決)

議案第19号 銚田市表彰条例の制定について

市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市政発展に寄与し、又は市民の模範と認められる行為があった者を表彰し、もって市の自治の振興を促進するためです。

(全会一致可決)

議案第20号 銚田市名誉市民条例の制定について

社会の進歩に貢献し、その功績が著しく、等しく市民に尊敬される者に対し、名誉市民の称号を贈って、これを顕彰するためのものです。

(全会一致可決)

議案第21号 政治倫理の確立のための銚田市長の資産等の公開に関する条例の制定について

政治倫理の確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律の規定に基づき、市長の資産等の公開に關し必要な整備を図るものです。

(全会一致可決)

議案第22号 土地改良事業の計画変更(農道粟野地区)について

土地改良法第96条の3第1項に基づき、議会の議決を求めるものです。

(全会一致可決)

議案第23号 平成17年度銚田市一般会計予算

(全会一致可決)

議案第24号 平成17年度銚田市国民健康保険特別会計予算

(全会一致可決)

議案第25号 平成17年度銚田市老人保健特別会計予算

(全会一致可決)

議案第26号 平成17年度銚田市介護保険特別会計予算

(全会一致可決)

議案第27号 平成17年度銚田市農業集落排水事業特別会計予算

(全会一致可決)

議案第28号 平成17年度銚田市公共下水道事業特別会計予算

(全会一致可決)

議案第29号 平成17年度銚田市旭区域水道事業会計予算

(全会一致可決)

議案第30号 平成17年度銚田市銚田区域水道事業会計予算

(全会一致可決)

議案第31号 平成17年度銚田市大洋区域水道事業会計予算

(全会一致可決)

各会計予算につきましては、合併前にそれぞれの町村において、通常予算として年間予算を編成しておりました予算の執行残額に、10月11日から3月31日までの予算として、市制施行に伴う経費や合併関連経費を盛り込んだ内容となっています。また歳入、歳出で既に確定しているものについては、その補正措置を行ったものです。

議案第32号 銚田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

(全会一致可決)

議案第33号 銚田市職員定数条例の一部を改正する条例

議案第32号、第33号ともに、銚田市収入役の事務の兼掌に関する条例の制定により、収入役を置かないこととなることから必要な整備を図るものです。

(全会一致可決)

報告第1号 専決処分の承認について

銚田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、専決処分したことについて議会の議決を求めるものです。

(賛成多数承認)

同意第1号 銚田市教育委員会委員の任命について

(全会一致同意)

同意第2号 銚田市教育委員会委員の任命について

(全会一致同意)

同意第3号 銚田市教育委員会委員の任命について

(全会一致同意)

同意第4号 銚田市教育委員会委員の任命について

(全会一致同意)

同意第5号 銚田市教育委員会委員の任命について

(賛成多数同意)

同意第6号 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について

(全会一致同意)

同意第7号 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について

(全会一致同意)

同意第8号 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について

(全会一致同意)

同意第9号 銚田市監査委員の選任について

(賛成多数同意)

同意第10号 銚田市監査委員の選任について

(全会一致同意)

同意第11号 銚田市助役の選任について

(賛成多数同意)

同意第12号 銚田市助役の選任について

(全会一致同意)

請願第17-1 地域ミニバスの運行を求めるための請願

(全会一致採択)

閉会中の継続審査の件について

本案は、議会運営委員会並びに各常任委員会より、継続審査の申し出があり、議会の議決を求めるものです。

(全会一致可決)

銚田市選挙管理委員及び補充員の選挙について

19議員が一般質問

通告順と質問事項

通告順	議員名	質問事項	
1	市毛 勇	(1)行財政改革について	2点
		(2)新市建設計画について	1点
		(3)農業改革について	1点
2	中山 尚 治	(1)自動体外式除細動器（略称AED）の配置について	2点
		(2)介護保険制度の改悪による負担軽減策について	1点
		(3)男女共同参画基本計画策定と男女平等基本条例について	2点
3	飯塚幸右衛門	(1)道路行政について	3点
		(2)メロンバス廃止について	1点
4	須 澤 正 孝	(1)銚田市の市政運営について	4点
		(2)新市建設計画について	2点
5	菅 谷 幸 雄	(1)市税徴収について	1点
		(2)少子化問題について	1点
6	方波見 和 彦	(1)教育について	5点
7	下河邊 一 良	(1)住宅の火災警報器の設置について	1点
		(2)防災行政無線の周波数統一について	1点
		(3)保育所の保育料について	2点
8	小 川 一 彦	(1)まちづくり交付金の活用について	1点
		(2)鹿島灘海浜公園の運営について	2点
9	出 沼 丈 夫	(1)福祉対策について	4点
		(2)通学路の整備について	2点
10	友 部 政 徳	(1)畑田玄生地区への産業廃棄物搬入について	3点
		(2)消防について	3点
11	石 津 武 吉	(1)鹿島鉄道存続への支援について	1点
		(2)農業振興策について	1点
		(3)健康財団理事長と消防団長の辞任を求めることについて	2点
12	水 上 美 智 子	(1)交通空白地域について	1点
		(2)防犯と通学路の子供の安全について	3点
13	入 江 晃	(1)国民健康保険出産費資金貸付事業について	1点
14	野 口 忠 篤	(1)道路行政について	4点
15	坂 爪 衛	(1)道路行政について	1点
		(2)児童の安全確保について	1点
16	井 川 茂 樹	(1)地域環境と農業振興について	1点
		(2)農業団体等の指導と扱いについて	1点
17	畠 長 弘	(1)銚田市として基幹産業の農業振興について	2点
		(2)銚田市の未来を担う子供たちの支援・安全対策について	2点
18	菅 谷 達 男	(1)合併してよかったと思われるまちづくりについて	1点
		(2)児童生徒の登下校時の安全確保について	1点
		(3)市有各不動産の有効活用について	1点
		(4)住民基本台帳の閲覧について	1点
19	高 野 衛	(1)百里基地への米軍F15訓練移転問題について	1点
		(2)消防、防災対策について	6点
		(3)住宅店舗リフォーム助成制度創設について	1点
		(4)農業振興対策について	2点
		(5)公共交通機関の充実について	2点

Q&A

市

政

を

問

う

Q 市民と行政の地域づくり施策について

A 地域に根ざしたビジネス・・・



市毛 勇 議員

Q 銚田市が自立をしていくには、地域力、コミュニケーションの結集と、行政のコーディネート

ネットのもと市民と行政が協働して手づくりの地域づくりを進めることが重要と考えます。コミュニケーションビジネスやNPOが広く展開し、有効に使えるような環境づくりが取組むべきだと思いますが、どのような形で立ち上げていくのかお伺い

いたします。

A 総務部長

地域に根ざしたビジネスというには非常に大事な事業で色々あると思いますが、例えば50歳代から働けるヤングシルーバーとか、福祉関係でファミリーサポートセンターの立上げとか、グリー

ンツーリズム、市民菜園、女性会における商品開発、直売、多様なビジネス展開ができると思います。今後そういうものを含めまして、地域とともに十分検討してまいりたいと考えております。

コミュニティービジネスとは、

役所などに頼ること無く、地域の課題を解決 地区内の雇用や経済循環を生み出すサービス業。

Q 自動体外式除細動器（AED）設置は

A 今のところ設置の考えはありません



中山尚治 議員

Q 茨城県は心疾患による死亡率が全国的にも上位で、特に女性の死亡率は第1位である

ります。旧鹿行郡内は男女ともに上位であります。そこで、心疾患の初期的段階で助命するための自動体外式除細動器が大変有効とされています。2004年7月以降、素人でも簡単に作動させることができます。そこで、市内各小中学校、公民館

A 教育部長

や庁舎内など公共施設に配置すべきと考えますが、お伺いいたします。空港、主要な駅に設置するにとどまっております。学校等の配置は、今のところ予定しておりません。

A 総務部長

多くの人が集まる施設等に配置されている状況もありますが、市内においては、消防署と救急車に配備されております。当面、推移を見てまいります。今すぐ設置するというような考えはございません。

AEDとは、突然心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器です。コンピュータを内蔵し、電極を胸に貼ると心電図を自動的に解析し、心室細動か否かを判断し、機械が電気ショックを与える機器です。

文化複合施設

Q 道路行政と計画は、

A 安全性、経済性、実現性を注視しながら、



飯塚幸右衛門 議員

Q 先程の答弁で、道路整備の優先順位は、安全性、経済性、地区の同意等を含めた実

A 現性ということですが、誰がどのように決めているのか、併せて請願による箇所付けについて、お伺いいたします。
建設部長 要望が出された道路について、建設課の職員が現場を確認してまいります。その中で先程の三

点ほどの項目を注視しながら、次年度予算要求の内部協議をし、具体的にどの箇所を予算要求するのか決めて、予算要求をしています。また、予算要求をしても査定の結果、満額ということはないかもしれませんので、予算が決定された時点で課内協議を

行ない、現実的にその年度の箇所付けを行なっています。請願の箇所については、旧銚田町に限って言いますと、年に一箇所、良くて二箇所程度で、旭地区、大洋地区においても同様に予算的に厳しい状況です。

Q 文化複合施設の建設を

A 早期着手したい



須澤正孝 議員

Q 銚田市が誕生するまでには、様々な課題を克服して、見事合併ができたところであ

ります。そういう観点から、地域の速やかな一体性の確立と均衡ある新市の発展、住民福祉の一層の向上を図るためには、優先順位もあろうかと思

様に合併の効果ですと云えるように、まず優先的に文化複合施設建設事業に着手すべきと思いますが、考えをお伺いいたします。
市長 これにつきましては、市民が共有する文化施設として、さらに庁

舎機能の拡充の受け皿整備としての必要性から、できるだけ早期に着手したいと考えております。



Q 少子化対策の考えは

A 地域と行政が一体となって環境づくりを



菅谷幸雄 議員

Q 今まさに国、県をはじめ各自治体においても、出生数の減少化の波に襲われ、この

対策に苦慮していることが現実であると思っております。本市においてもまちづくり計画に示しているように、2030年を迎えると、ゼロ歳から14歳が1800人の減少すると推計されており、さすが、避けて通れない難題と思いますが、どのよ

うな対応をお考えか、お伺いいたします。

A 健康福祉部長

基本的には子供を持ちたい人達が安心して産み育てる事ができ、かつ子供達が生き生き育つ環境づくりを地域と行政が一体となって取組んでいかなければならない

と考えております。この事を念頭に、合併前の次世代育成支援対策地域行動計画の指針を基本に、項目一つ一つの内容充実に心がけ、継続していくとともに、具体的な実行に結びつけていくよう努力してまいりたいと考えております。

少子化は、地域社会全体の活力を低下させる大きな問題でもあります。

Q 不登校児童生徒の現状は

A 小中あわせて30人



方波見和彦 議員

Q 不登校児童生徒の数と子どもたちへの対応や改善策、保護者への働きかけ、初めて

の子どもを持った保護者への啓発活動としての、講演の開催について、お伺いいたします。

A 教育部長

不登校の子どもたちについて、小学校20校で児童数2868人その内不登校児童は7人、保健室登校はありません。

中学校については、4校で生徒数1463人その内不登校生徒は23人、保健室登校生徒は13人です。改善策としては、担任が1人ではなく、チームを組んだ対応ということでは信頼関係のある者が訪問をしています。中学校においては、スクールカウンセラーの配置をして、不登校の生徒や保護者の相談活動を行っております。小学校に入学する前の子どもを持つ親を対象に、子育て支援講演会等を開催し、啓発等を行っています。

ンセラーの配置をして、不登校の生徒や保護者の相談活動を行っております。小学校に入学する前の子どもを持つ親を対象に、子育て支援講演会等を開催し、啓発等を行っています。



Q 保育料の滞納をどうするのか

A 厳正に対処したい



下河邊一良 議員

Q 保育料の滞納額を単純に定員数で割ってみますと一人当たり幾らになるかというこ

とで。そうすると、大洋の滞納は、旭、銚田の四倍です。まじめな保護者が損をするような行政を進めるのではなく、口座引落だって、きちっと保護者と連携をとって頂かないと、口座には入っていないよと。引落ができないということ、善良

な保護者に迷惑のかからない行政を進めるべきと思いますが、高額滞納者に対する市長の考えをお伺いいたします。

ていない人、この辺を的確に調査し、取組まなければなりません。口座振替になっていきますが、毎日顔を合わせる保育園で、徴収をお願いするのも一つの方法と思います。今後厳正に対処していきたいと思っています。

A 市長

保育料についての質問ですが、色々な税金を含めまして本当に払えない人、払えるのに払っ



Q まちづくり交付金について

A 事業性検討の結果・・・

★ まちづくり交付金の交付限度額は、交付対象事業費の概ね40%となります。
★ 合併特例債によって、充当できるのは対象事業費の概ね95%で、更にその元利償還金の70%が交付税措置されます。



小川一彦 議員

Q 新市建設計画について、合併特例債等を活用して進めるわけですが、全てが特例債

で賄えるわけではなく、概ね三割は市が負担しなければなりません。この負担を軽減する方法の一つとして、まちづくり交付金制度について、九月十三日に銚田で国土交通省都市地域整備局より企画専門官をよんで、説明会を行いました。三カ月が

過ぎましたが、その後、各課でどのような対応をしたのか、お伺いいたします。

A 企画課長

この事業においては、住民参加型、いわゆる提案事業が必要です。また、本体事業そのものについて、まちづくり交付金の事業性があるかどうかの判断を、県当局としてきました。その結果、十分にあると言う判断をいただいております。今後は、その複合する提案事業の有無、併せて財政関連の計画の変更とか、そうしたものを検討していきたいと考えております。

Q 生活保護について

A 十分調査をして判断



出沼 丈夫 議員

Q 合併時点での生活保護世帯、受給者はどのくらいなのか。また、国からの補助額は

何割になっていて、合併前との変化はあったのか。そして、生活保護を受けるときの基準について、お伺いいたします。

A 健康福祉部長 県より引き継いだ時点で、239世帯、320人で、16歳以上65歳未満の稼働年齢層は

139人、65歳以上の高齢者は153人となっています。保護費の負担割合は国が四分の三、移管に伴い県の四分の一を市が負担することになります。生活保護は、給与、年金、各種手当、仕送りなどの世帯全体の収入合計を最低生活費に照らして判断

することになり、かつ稼働能力、資産を活用し精一杯努力しても生活ができない場合に適用されるため、処分可能な資産、預貯金、不動産などの有無、稼働能力などについても十分調査して判断します。また、自立を助長する制度でもあります。



Q 産業廃棄物撤去の対応は

A 撤去させなければなりません



友部 政徳 議員

Q 烟田玄生地区への産業廃棄物の搬入された量はダンプカーで300台に及ぶと、処

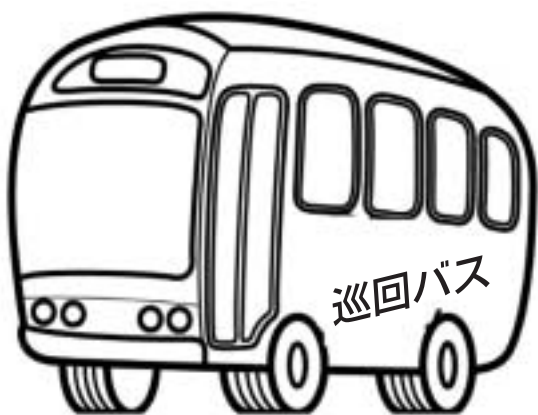
理費用は7500万円ぐらいはかかるだろうと県産業廃棄物対策課の話を伺いました。産業廃棄物は県の問題であり、撤去は持込んだ業者の問題だと思いますが、土採取事業を受理し、悪徳業者であることを見抜けなかった町、現在は市になって

いますが、市としての責任があるはずであります。今後どうするのか、お伺いいたします。

A 市民部長 産業廃棄物については、原因者である藤田興業が撤去すべきもので、撤去させなければと考えています。さらには、

搬出元にも責任がありますので、撤去の請求ができることになっています。いずれにしても、今後の裁判の推移を見ながら、茨城県産業廃棄物対策課と連携をとりながら、撤去に向け対応していきたくと思っています。





Q 交通空白地域に
ついて、九月三十
日をもって、関鉄メロン
バスが廃止となりました。



水上美智子 議員

交通手段を持たない方や、
買い物や医療機関、公共
機関に行く方々、子ども
やお年寄りに対して、交
通サービスの確保は急務
と考えます。そこで、県
内でも巡回バスや福祉バ
スなど、地域に合った運
行がなされております。
巡回バスなどの実現に向

A 総務部長
いろいろな地域
で巡回バスとか、そうい
うことを実施していると
いうことは、我々も注視

しているところですが、そ
ういうことも含め、多く
の方々の意見を聞く機会
を設けながら、前向きな
方向で、できればという
考えでいますが、これか
ら検討させていただきます。

Q 巡回バスの運行について、 検討委員会を設置しては A 検討をさせていただきます

Q 茨城県や沿線自
治体は、来年度ま
では財政支援を決めてい
るということ伺ってい



石津武吉 議員

ます。今の答弁を聞くと、
非常に前途が難しい気が
するんですが、銚田市に
おいて、市長として、も
ちろん県との関わりもあ
るとは思いますが、力を
入れて頂き、「かしてつ
応援団」ができています中、
なくなってしまうのは残
念ですので、乗って欲し

A 市長
私が乗っていた
頃は朝の時間は、二両編
成でも乗りきれない状況
でした。しかし、現実的
には少子化で、また、社

会の変化でやむを得ない
と思いますが、保護者に
よる車での送迎が結構い
るように感じます。これ
を我々行政で増やそうと
しても、現実的にはなか
なか難しい問題というふ
うに思っています。

A 利用客の増大は困難

Q 鹿島鉄道の存続について



Q 出産一時金貸付制度について

A 今後とも研究させて頂きたい



入江 晃 議員

Q 国民健康保険出
産貸付資金事業に
ついて、鹿行管内におい
て、神栖市、潮来市が実

施をしている中で、利用
度が少ないということだ
すが、制度を知らない方
もいると思います。先進
都市を目指す銚田市にお
いては、上乘せを考えれ
ば別ですが、制度にお金
がかかるわけではないと
思います。子どもを産む
ために市としては、こう

いう努力をしています。と
いうように、一番の基本
は出生率を上げることだ
と思いますが、考えをお
伺いいたします。

A

市民部長

出産の手だてを
する事業ですので、実施
状況等を良く検討し、対
応していきたいと思っ

A

市長

います。一時金ばかりで
なく、委任払い、一時金
の貸付制度については、
研究をさせて頂きたいと
考えます。

本場に役立つ運
用ができる、そういう形
で検討させて頂きたいと
思います。



Q 東関東自動車道水戸線の進捗は

A 一部工事着手・・・



野口 忠 篤 議員

Q 東関東自動車道
水戸線について、
道路公園の民営化により、
どのような名称になった

A

土木部長

のか、そして市内の工事
進捗状況について、お伺
いたします。

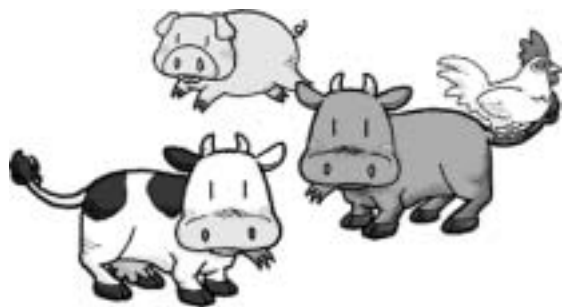
議員ご指摘のよ
うに、民間の会社に移行
しまして、東日本高速道
路株式会社が設立されて
おり水戸市河和田にその
関東支社水戸工事事務所

がございます。進捗とし
ては、茨城南インターチェ
ンジから茨城ジャンクショ
ン間、この九キロですが
百里飛行場の民間共用化
に伴い、先行して整備が
進められています。平成
十七年度は用地買収、埋
蔵文化財の調査、一部工
事着手と聞いております。

用地については、88・3
%を取得しております。
さらに茨城南インターチェ
ンジから銚田インターチェ
ンジ間ですが、こちらは
設計の準備のための調査
を進めている状況です。

平成17年11月30日、東京都内で「茨城県高速
道路ネットワーク実現大会」を開催。

大会終了後、橋本知事と関係市町村長・議長
等が、関係省庁、国会議員へ早期実現を求め
る要望活動を行いました。



Q 畜産経営は、本市農業の一翼を担う重要な部門であります。しかし、そのふん尿処理



井川茂樹 議員

A 議員ご指摘のとおり思います

問題は、周辺住民に少なからず迷惑をかけてきたわけで、市の維持発展には、地域の主産業である農業の振興と併せて、企業誘致、雇用確保、人口流入などが不可欠であると思います。家畜ふん尿の臭いの問題も重要課題と考えています。臭いの

A 市長

農業問題を見ても環境の問題を避けては通れない現状だと思っております。しかしながら、家畜排泄物法にこの臭い

軽減にぜひ畜産農家、行政が協力して取り組むべきだと思いますが、その点お伺いいたします。

についての縛りはありません。議員ご指摘のように、農家と色々な場で協議をしながら指導をしていかなければならないと考えています。少なくとも、家畜排泄物法をきちんとクリアして頂ければ、多少とも臭いの減になるのかと思います。

Q 生活道路整備は、

A 道路整備計画と通常の維持費の両方で



坂爪 衛 議員

Q 安全性、経済性、実現性等考慮しながら計画するということが、これから特例債

を使った事業もあり陰に隠れて地区内の事業が出来なくなることを危惧しています。その点について、お伺いいたします。

A 建設部長
道路整備に当るには、財源として国土交通省、文部科学省、防衛施設庁、県の単費、さら

には、農道関係の補助を見込みながら、まずは基幹道路、合併支援道路の整備を進めなければと考えております。また議員ご指摘のように生活道路の整備についても、起債事業が組めるかどうか、考慮しながら計画に盛り込んでいきたいと思いま

す。また、406件の要望、請願の中で小さなものは、道路維持補償の関係で対応してきた経過もございしますので、両方の予算により、地区の要望に応えていきたいと考えております。



政策能力の向上

Q 農業振興策は

A 「食の先進地」を目指して



市長 弘 長 議員

Q 市長は、合併に伴い、基幹産業の振興は産地間競争に勝てる新施策を考えたい。目

指すは日本一の産地づくりと述べております。どのような施策、支援の策があるのか、お伺いいたします。

A 産業経済部長 環境と経営が調和した次代の農業の確立のため、「食の先進地」を目指した品質の向上と生

産の拡大、環境保全と調和する地域資源を活用した新市の発展の基盤となる農業の力強い振興を図っていきたく考えます。主な施策として、地域循環型農業の推進、トレーサビリティの導入、農業体験など雇用の創出、食の

情報基地としてのPR、付加価値向上のための研究など、支援策については、圃場施設や機械など相当レベルで整備がされていますので、多種多様な農家の意向を的確に踏まえて、あまねくきめ細かな支援策を検討してまいりますと考えております。



Q 合併してよかったと思われるまちづくり

A 市民と行政が協力して…



菅谷 達男 議員

Q 地域のことは住民が決めるという本格的な地方自治、地域間競争の時代に入り、地

域住民の創意工夫が尽くされたまちづくりが、そしていかにきらりと光る銚田市を創っていくのが求められています。その実現に行政の政策能力の向上が不可欠であると思えます。そこで、行政の政策能力を向上させる一環として、大学、産業

界などが各分野で持っている英知を結集する方を模索してみてもどうか、お伺いいたします。

A 総務部長 新市建設計画の中でも新市のまちづくりの主役は市民です。と謳っているとおおり、市民と行政が協力し合いながら、

まちづくりを進めなければと考えております。また、ご指摘のとおり各般における施策の検討、実施の過程では大学をはじめとした各分野の方々の経験、知識を取り入れることも当然検討する必要があります。と

Q 米軍F15戦闘機訓練移転問題

A 的確な対応をしたい



高野 衛 議員

Q 百里基地は既に日米地位協定に基づく日米共同使用基地になっており、新たな訓練



の受入れは米軍と一体化を一段と強化するものです。周辺住民は耐え難い騒音被害に苦しめられ、訓練移転は、一層の騒音をもたらし、事故の発生、治安の悪化、周辺に原子力施設などが立地しており墜落による大惨事も懸念されます。市長の議場

での反対の意思表明と、防衛庁に訓練移転反対要請の考えはあるのか、お伺いいたします。

A 総務部長

十一月十八日東京防衛施設局長、十二月六日の防衛庁長官政務官から市長に説明があり、その際これ以上の航空機騒音を増大させる訓練移転は、基地周辺住民の意見、要請を十分配慮する必要がありとして反対であることを市長から伝えました。今後は、議会、周辺市町村、そして周辺住民団体と連携して的確な対応をしたいと考えています。

議員研修会を実施

銚田市議会議員研修会

各町村時代の議会運営の方法等に大きな違いは無いにしても、法規則に則った共通の認識のもと市議会としての役割を果たさなければなりません。分権時代がもたらす新しい議会の役割は社会の変化に対応しながら、その中で出来るだけ住民を幸せにするような地域社会をつくるのが重要かつ課題でもあります。銚田市議会も町村合併後、市議会としての議会運営方法、申し合わせ等について話し合いを進めてきました。そこで、十一月二十九日、銚田市に茨城県市町村課行政担当の二人を講師に招いて、「地方公共団体の議会」「市町村議会の運営と実態」と題して研修会を開催してきました。講演終了後の質疑、意見交換では、活発な議論が交わされ、運営上の疑問点等、様々なものがだされ、今後の議会運営に身のある研修会を開催することが出来ました。

原子力施設研修会

銚田市は原子力関連施設の所在市となっていることから、議会として施設概要についての研修会を平成十八年一月二十六日大洗町の日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおいて、研修会を開催しました。



— 常任委員会の審査経過と結果 —

— 総務企画委員会 —

委員長 坂 爪 衛

審査経過の概要として、議案第23号においては、今年度分の合併特例交付金の使途について、また、電源三法による原子力発電施設等広報安全対策交付金、電源立地地域対策補助金、リサイクル研究開発促進交付金、そしてまた、今年度で終了となる大洋村が受けていた電源立地促進対策補助金の内訳等の質疑がありました。その他総合支所の庁舎管理委託料の業務内容、委託先、契約方法について執行部に説明を求めました。

消防団について十九年度を用途に統一を図っていききたいと事務サイドでは進めており、消防に関する費用については、その時期には遅くとも、施設整備の地元負担について、すべて地元負担がなくなるという意味ではなく、地元負担が基準より多く要望している場合には、基準を越えた部分は地元負担。ある一定の基準にのっとって、基準内であるならば全額補助でもいいんじゃないかというような、考えのもとに進めていきたいという執行部の答弁もありました。関連して、住民に負担をさせた分を住民に返して頂きたいという要望もありました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決することに決定いたしました。
 請願第17・1号については、銚田から鹿嶋を結ぶバス路線が廃止になったということで、請願が提出されました。これらは、区長さんをはじめ、地元の老人会の皆さんが中心になりまして、署名運動が展開され、銚田の新宮地区につきましては、全地区で署名がされ、大洋地区については、二重作、台濁沢などの関係する住民

の方々が、それぞれ署名をされているようであります。この請願書と合わせて、同一趣旨の陳情書も提出されておりまして、合わせますと1384名ということ、かなりの住民の方からの要望が出されているということで、住民の方の想いをやはり議会としては受け止めなければならぬのではないかとこの意見が出され、また請願の中では、廃止される路線だけではなく、市内全体を巡回するバスの運行を求めるということで、まさに市民全体の要求にあったものだと感じ、車を持たない方々の交通手段の確保のために、大変適切な請願内容と考えますので、是非とも採択すべきではないかということでした。審査の結果、全会一致で採択と決しました。

— 文教福祉委員会 —

委員長 江 沼 久 男

審査の経過の概要として、議案第23号においては、小学校大規模事業債、公立学校建物大規模改造事業費補助金合わせて2億8623万2千円で、旭西小学校の耐震診断結果による、補強工事が主で、本体工事費が契約額で2億8455万円で契約されており、ほぼ、この額でいくと思われませんが、若干の付帯工事で変更もありうるということですが、また、中央公民館のアスベスト成分調査分析のための委託料については、目視によって、集会所、玄関の屋根裏に吹き付けがあり、そのサンプリング調査するもので、結果によっては、即対応していかなければならない状況です。生活保護費については、四分の三が国、四分の一が市負担ということですが、市負

担分については、交付税算入されるということですが、関連して、働けるのに働かないで生活保護費をもらっているような方がいるようですが、そのような方に対して、職に就けるような指導を合わせてはという、要望もありました。
 図書館の図書購入費について、三箇所の図書館で例えば専門書等の高価な本については、共通して利用できるようなにして、経費の節減を図ることを考えてはどうか。語学指導外国青年招致事業で4名の先生方の交流を進めながら、幅広い活動への期待をする意見がありました。植木維持管理委託料、植木芝等の管理委託料が多く、シルバー人材センター等で出来る作業についてはお願いをして、経費を節減する要望がありました。また、体育施設の使用料、キャンセル料の徴収形態の統一要望がありました。

議案第26号では、介護の認定の方法、認定調査委託料の積算等についての質疑がありました。
 審査の結果、議案第23号 平成十七年度銚田市一般会計予算中本委員会所管事項、議案第26号 平成十七年度銚田市介護保険特別会計予算ともに、適切なものと認め、全会一致をもって原案のとおり可決することに決しました。



― 常任委員会の審査経過と結果 ―

― 産業経済建設委員会 ―

委員長 井川茂樹

審査経過の概要として、議案第23号においては、農業後継者若人の集い負担金に関連して、少子化、対策が社会問題になっていますが、農業後継者ばかりでなく、それぞれの産業のほうも、合併をしたんですから多方面へ発信をして、出合いの場を施策して頂きたいという要望がありました。また、マーケティング強化支援事業補助金、遊休農地対策事業費補助金、真空予冷庫及び集出荷貯蔵関係の事業費、生産振興総合対策事業費補助金、豚オーエスキー予防注射補助金等の目的等の質疑がありました。

土木費関係では、市営住宅の家賃の滞納の回収状況、道路改良舗装工事費5億6800万の旧町村別の箇所付けについての質疑がありました。

議案第27号では、美原青山地区の当初の計画人口に対する加入率71・58%で、昨年と比較して六戸22人増えている状況であるということでした。

議案第28号においては、公共下水道の将来的な自己負担、地域負担はあるのかないのかという質問に対し、公共下水道については、面積的なものを準用して算出しないということになっており、そういう中で、青山地区農集が十四年度開始、上島西部地区の農集が今年採択を受けており、分担金、使用料などについて、今後、審議会をたちあげてその中で決定をしていきたいと考えているということでした。それに対し、公共下水道についても、農集との整合性を図りながら、均衡のとれた使用料にして欲しいという要望もありました。執行部からも、今現在、

いくらかということはありませんが、同程度の負担になれるよう、そういう方法で考えていく方針でいるということでした。

審査の結果、議案第23号、議案第27号、議案第28号ともに、全会一致で原案のとおり可決することに決定いたしました。

― 市民生活委員会 ―

委員長 米川宗司

審査経過の概要として、議案第23号においては、税務課関係の電算処理業務委託料の委託先と業務の内容に関する質疑。また、大洋地区のごみ処理の件については、クリーンセンター協議会の中で、市の考え方、大洋のごみの取扱い方について説明をしながらご理解いただけるように、現在、話し合いをもっているということ。市としては四月から大洋地区のごみも処理させてもらいたいという方向で住民の方々と話し合いをしている状況でした。関連して、ゴミの分別品目を増やすことで、ごみの量を三割減らすことに成功した事例について提言がありました。

エコパーク銚田の運転業務委託料に関連して、時期的にし尿の汲み取り業者の方々が、処理能力の関係から搬入調整をしなければならぬ状況にあり、タンクに溜めておくようなことにならないで、すぐ処理を出来るよう検討して頂きたい等の質疑、要望がありました。

議案第24号においては、国民健康保険基金安定繰入金の関係、保険税の滞納、出産一時金の状況に対する質疑、少子化問題についても、他の自治体の少子化対策の事例の提言、国民健康

保険支払準備基金積立金の基準など、質疑がありました。また、一人あたりの療養諸費について、旧三町村では、大洋が一番高く銚田、旭はぐっと低い状況であることから、大洋村にはとっぷ・さんて大洋があるにもかかわらず、旭村と比較して一人当たり4万円も高いということなどから、医療費を低く抑えるような、調査研究を求める要望がありました。

議案第25号においては、国民健康保険同様、老人保健についても、旧大洋村が高い状況であり、医療費の削減については、執行部として今後努力をしていくことでした。また、高齢者医療の自己負担割合の件についても、国の定める制度での運営になりますが、高齢者の方々にも充分ご理解いただけるような、お知らせなりを考えていきたいということでした。

議案第29号から第31号の3区域の各水道事業会計予算においては、水道料金の旧三町村の比較と今後将来的に料金が高くなるという状況、それとその背景にある設備投資に年々経費がかかる、水道の基本契約をしても、水を全く使わない状況がある。水道を引きながら水を使わない割合は、旭区で44・3%、銚田区で36・9%、大洋区で30・5%ということでした。安心、安全な水をPRして、加入促進、水需要を伸ばす対策をしていかなければならないということでした。

工事が終わって、給水の段階では当然、水需要がなければ、赤字というような状況で、一般会計から繰り入れるのか、料金体系を変えるのか、そうした点を踏まえて十分、努力をして欲しいということ強く要望しました。

審査の結果、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第29号、31号ともに、適切なものと認め、全会一致で可決することに、決しました。

同意された人事案件(敬称略)

○銚田市助役

酒井 隆三
銚田市冷水
小橋 隆三
銚田市阿玉

○銚田市監査委員

鬼澤 寛
銚田市畑田
大貫 二男
銚田市柏熊

○銚田市教育委員会委員

酒井 英一
銚田市玉田
藤井 優
銚田市舟木

高栖 美佐子
銚田市畑田

新高堀 一朗
銚田市菅野谷

風間 捷雄
銚田市中居

○銚田市固定資産評価審査委員会委員

石崎 征夫
銚田市荒地
新堀 正睦
銚田市菅野谷

菅谷 富造
銚田市上沢

○選挙管理委員会委員

長峰 喜精
銚田市野友

小見 勝治
銚田市飯島

小島 良一
銚田市銚田

石崎 四郎
銚田市荒地

○選挙管理委員補充員

中根 晃
銚田市一重(第1順位)

石崎 正男
銚田市荒地(第2順位)

寺沼 一男
銚田市徳徳(第3順位)

町井 一郎
銚田市柏熊(第4順位)

請願陳情

- 12月定例会に提出された請願・陳情は、請願1件、陳情1件、要望4件です。
- ◆請願第17-1号 地域ミニバスの運行を求めるとの請願
 - 提出者 井川 浩一 他847名
 - 要旨 銚田から鹿嶋を結ぶ2つのバス路線が廃止になったため、地域ミニバスの運行を請願するものです。
 - 審議結果 願意妥当採択
- ◆陳情第17-1号 地域ミニバスの運行を求めるとの陳情
 - 提出者 山口 保司 他537名
 - 要旨 請願第17-1号と同様です。
 - その写しを全議員に配付しました。
- ◆大洋村職工組合に対する平成18年度村補助金の増額要望
 - 提出者 大洋村職工組合 組合長 飯島 治
 - 要旨 大洋村職工組合事業費補助金の増額を要望するものです。
 - その写しを全議員に配付しました。
- ◆青色申告会に対する平成18年度村補助金の増額要望
 - 提出者 大洋村青色申告会 会長 札 量夫
 - 要旨 大洋村青色申告会事業費補助金の増額を要望するものです。
 - その写しを全議員に配付しました。
- ◆食品協会大洋支部に対する平成18年度村補助金の増額要望
 - 提出者 銚田食品協会大洋支部 支部長 相川 伸男
 - 要旨 食品協会大洋支部事業費補助金の増額を要望するものです。
 - その写しを全議員に配付しました。

- ◆商工会に対する平成18年度市補助金の増額要望
 - 提出者 大洋村商工会 会長 倉川 陽好
 - 要旨 商工会事業費補助金の増額を要望するものです。
 - その写しを全議員に配付しました。
- ◆百里基地への米軍F15戦闘機訓練移転に関する申し入れ
 - 提出者 日本共産党銚田市議会議員団 団長 高野 衛
 - 要旨 百里基地への米軍F15戦闘機訓練移転に対して、これ以上の騒音被害と住民の安全を守るため、反対の意思表示を議会として行うことを申し入れするものです。
 - その写しを全議員に配付しました。なお、常任委員会において継続審査としました。



編集後記

銚田市として第一回の定例会が行われ、議会の審議に関心が寄せられる中、大勢の方々が傍聴していただき、終了後「がんばってください」と声を掛けられた時は、ほっとした気持ちになりました。住民の関心の高さに、皆様の代表として期待されている事を感じ、透明性や公開性の高い、そして、住民との意思疎通ができる議会づくりが求められていると思いました。議会だよりも、住民とのコミュニケーションとして重要性を感じます。

イギリスの政治家チャーチルの言葉に「人生で大事なことは、次の時代のために、良き社会を築き、残す事ができたかどうかである」と言われています。銚田市の発展のためにも、皆様のご意見やご要望をいただき、行政と住民のパイプ役として努力していきたいと思っております。新年を迎え、これからも議会を構成する議員自らが、学習し成長していくことが期待されていると思っておりますので、積極的に一つ一つ取り組んで参ります。

(水上 記)